玉川大学 経営学部 観光経営学科

TAMAGAWA COLLEGE OF BUSINESS ADMINISTRATION　DEPARTMENT OF TOURISM AND HOSPITALITY MANAGEMENT

—— 高い英語力で世界の「光」を観る ——

「観光学部観光学科」2013年4月設置計画中（名称その他の計画に変更が生じることがあります）

観光学を通じて「英語力」＋「情報力」を修得

英語力 -English-
語学力と、コミュニケーションツールとしての英語運用能力を高める。グローバル社会で共創力を磨き、異なる文化や習慣、価値観を認め、尊重できる柔軟な思考力を養う。

＋

情報力 -Information-
1年次から「データ処理」、「統計学入門」などの授業で、統計処理やマーケティングなどの情報収集・分析力を修得。また、情報を発信するためのWEB活用能力も磨く。

TOPICS
学生全員が1年間の海外留学で生きた英語を学びます
観光学部では「実践的教育」を重視し、2～3年次にかけて、1年間の海外留学プログラムを必修としています。異文化体験を通して、国際社会で活躍できる高い英語力を形成。また同時に、異文化に対する理解を深め、グローバル人材としての豊かな国際感覚も養います。

学部内容・オープンキャンパスの詳細は
www.tamagawa.jp

オープンキャンパス（体験授業フェア）
7/16(月祝)　8/1(水)　8/24(金)　いずれも10：00～16：00

玉川大学 入試広報部
〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1
資料・願書請求（資料請求センター）0120-332655
入試に関する問い合わせ（入試広報課）☎042-739-8155
玉川大学携帯サイトへアクセス！

松蔭大学 観光メディア文化学部

●メディア情報文化学科（平成25年4月新設）
●観光文化学科

もてなしとメディアの文化を学び、業界のリーダーを養成します。

来年4月、観光メディア文化学部に新たな学科「メディア情報文化学科」が誕生します。高度情報化社会に対する豊かな適応能力と広い視野を持ち、日本や世界を舞台に活躍できる人材を育成します。従来の「観光文化学科」と合わせ、観光メディア文化学部はますます充実します。

■平成25年度入試日程
AO入試
登録期間 H24・8・1(水)～10・10(水)
合格発表日 H24・11・16(金)
推薦入試
出願期間 H24・11・1(木)～11・7(水)
窓口受付 H24・11・8(木)、9(金)
試験日 H24・11・10(土)
合格発表日 H24・11・16(金)

■オープンキャンパス日程
7/14(土) 7/28(土) 8/4(土) 8/18(土) 8/25(土) 9/15(土) 9/29(土) 10/13(土)
■集合場所　厚木ステーションキャンパス（小田急線本厚木駅前）　TEL.046-296-1511　■開催場所　厚木森の里キャンパス

（お問い合わせ先）厚木森の里キャンパス 広報部　TEL. 046-247-1511

Toyo University 125th Anniversary

東洋大学

TOYO UNIVERSITY

国際地域学部
国際観光学科

2012年 東洋大学、創立125周年

国際的な視野で観光を総合研究。伝統文化やホスピタリティなどの理解から実践まで広く学べます。東洋大学では、創立125周年を機会に国際社会で活躍できる人材育成を行います。

創立125周年記念研究棟（11月竣工予定）

フェアトレード販売の様子

国際地域学部国際観光学科
1963年に日本で初めて短期大学観光学科として誕生し、2001年新たに4年制大学の学科としてスタートしました。創設以来50年近くにわたり社会に送り出した多数の卒業生は、現在観光業界の第一線で活躍しています。

お問い合わせ　〒112-8606　東京都文京区白山 5-28-20
☎03-3945-7571　（広報課）　http://www.toyo.ac.jp/

マネジメント学部 観光マネジメント学科

平成26年3月 第1期生卒業予定

観光の現場を通じて 実践的な能力を身につける

将来の日本を支える産業として期待される観光業。観光の現場の中で、自ら企画を立案、関係各所と交渉し、地域活性化や顧客満足を実現できる人材を育成します。

会津若松市長に観光振興策を提案
風評被害で観光客が激減した福島県会津若松市の復興支援策として、女性客向け観光ツアーを企画。現地を訪問し、観光資源を掘り起こし、会津若松市長に提案しました。今夏に近畿日本ツーリストより商品化される予定です。

学生観光ガイドが東京下町を案内
今話題の東京下町谷中地区を舞台として、東京商工会議所・JTBとの産学連携事業として都市型観光プログラムを実施。商店街や町工場などを観光資源として掘り起こし、地域活性化に繋がるよう、お客様をご案内しました。

全学生がインターンシップに参加
観光マネジメント学科の全学生は、2年次の夏季休業中に2週間程度、観光に関わる企業・自治体でインターンシップに参加します。早い段階で就業体験をすることで、社会での活動をイメージし、その後の学修に役立てます。

ATOMI UNIVERSITY 跡見学園女子大学

問い合わせ先
〈文京キャンパス〉〒112-8687　東京都文京区大塚 1-5-2
〈新座キャンパス〉〒352-8501　埼玉県新座市中野 1-9-6
TEL 03-3941-8858（就職課）
URL　http://www.atomi.ac.jp/daigaku/

人文学部
観光文化学科

「観光デザイン力」とそれを支える「社会人基礎力」の二つを核に、多様で個性的な観光の創造に向けた教育を推進。

自分の夢をかなえよう！
① 旅行・宿泊・交通など、観光に関わる仕事に就きたい
② 旅行業務取扱管理者など、観光に関する資格を取りたい
③ 地域の観光振興に役立ちたい
④ 日本や世界の素晴らしさを文章や写真で表現できるようになりたい

オープンキャンパス 2012
7/22(日) 8/5(日) 8/26(日)　10:30～14:30
9/30(日)　12:00～16:00
11/18(日)　12:00～15:30

入試相談会　学園祭同時開催！
9/8(土)　10:00～13:00
10/28(日)　11:00～15:00

TOKYO SEITOKU 東京成徳大学
PC http://www.tsu.ac.jp　http://www.tsu-mobile.com

八千代キャンパス
○大学　人文学部　日本伝統文化学科　国際言語文化学科　観光文化学科（2010年4月新設）
応用心理学部　福祉心理学科　臨床心理学科　健康・スポーツ心理学科
〒276-0013　千葉県八千代市保品2014　TEL047-488-1000

「観光」を学べる

グローバル人材を育成

玉川大学

玉川大学は2013年4月に「観光学部観光学科」の設置を計画している。現在の経営学部観光学科を進化、発展させる。

「英語力」と「情報力」の習得を通じて、グローバルスキルを持ち、世界を舞台に活躍する人材を育成する。適切な情報収集と分析を通して、現代における観光の意義と役割、課題を的確に把握し、また、異文化に対する理解を基礎に、英語力を駆使して、グローバル時代の観光産業と地域活性化に貢献できる人材を育てる。

2年次から3年次にかけて1年間の海外留学プログラムを全員が履修。国際共通語としての高度な英語運用力の習得を図るとともに、それを用いた異文化理解の深化と異文化との交流を培う。

教育課程は、1年間の海外留学を含めて4年間で卒業できるように設計。①「観光全般に関する知識」を体系的に習得させること②「英語運用力」の向上を図ること――を主軸に編成されている。

観光学部の設置を予定する背景には、産業界における大学に対するグローバル人材育成への期待の高まりがある。

日本経済団体連合会は11年6月に「グローバル人材の育成に向けた提言」を発表。産業界がグローバル人材に求める素質、能力について「社会人としての基礎的能力に加え、既成概念にとらわれず、チャレンジ精神を持ち続ける姿勢、外国語によるコミュニケーション能力、海外との文化、価値の差異に対する興味、感心などが重要」とした。また「大学生の海外留学の奨励」や「世界のリーダーとなる高度人材の育成に向けた取り組み」を大学教育に求めている。

まさに産業界と時代の要請にこたえる形での観光学部設置と言えそうだ。

カナダ・ビクトリア大学研修プログラム

来年4月に新学科設立

松蔭大学

吉田松陰の行動哲学「知行合一」を建学の精神に掲げる松蔭大学（神奈川県厚木市）には、もてなしとメディアの文化を学ぶ「観光メディア文化学部」がある。同学部には「観光文化学科」があったが、来年4月には「メディア情報文化学科」が新たに設立される予定で、2学科体制と充実する。

メディア情報文化学科は、高度情報化社会に対する豊かな適応能力とグローバル化時代への広い視野を備え、地域社会に貢献し、日本や世界を舞台に活躍できる人材を育成する。

キーワードは「メディア情報を読み解く」「情報を活用」「自ら文化を発信する」で、メディア文化、メディアコミュニケーション、メディア情報の3科目群を設ける方針だ。

「学科卒業は、新聞・放送、出版、広告業界や宿泊、飲食、運輸、コンベンションビューローなどの観光関連業種、企業や官公庁の企画・広報部門などへの就職に有利に働く」と大学関係者は強調する。

一方、観光文化学科は観光文化を中心として、「観光経営・産業」「地域観光」「国際観光」という3つの側面から、「もてなしの心」を学ぶことによって、観光業界に役立つ観光文化人間の育成を目指す。

キャンパスは横浜、江ノ島、伊豆、箱根など有名観光地に隣接し、地理的条件に恵まれている。その上、観光業界での実務経験が豊富な教授陣と充実したカリキュラムによって、インターンシップ、産学共同研究・提携、地域おこしなどが容易に行える環境にあるので、「理論と実務」を身につけた学生にとっては就職先が広がり、選択しやすくなるメリットがある。事実、観光業界に多くの卒業生が就職しており、活躍している。

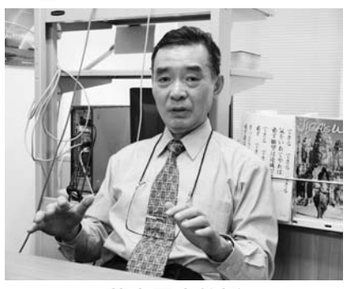
授業風景

輝く観光教育の伝統

東洋大学

東洋大学の観光教育の歴史は日本で最も古い。1963年、東洋大学短期大学にホテル観光学科を創設。2001年に4年制の学科として国際地域学部国際観光学科をスタートした。

1学年約240人の学生は2年次から、旅行産業を理論的・実践的に学ぶ「ツーリズム・マネジメントコース」、〝もてなし〟の産業を専門的に学ぶ「ホスピタリティ・マネジメントコース」、観光地の整備・開発・保全を学ぶ「レジャー&リゾート・マネジメントコース」の3コースに分かれて専門性を高めていく。「観光産業・ホスピタリティ経営論に加えて、旅行者心理・行動分析や地元受け入れ地域の振興計画を学ぶカリキュラム」（薄木三生教授・国際観光学科主任）が組まれている。


薄木三生教授

その成果は観光業界への就職実績が物語る。就職先は、JR東日本、JR東海、全日空、スカイマークエアラインズ、JTB法人東京、JTB首都圏、日本旅行、近畿日本ツーリスト、ホテルオークラ東京、パレスホテル、ホテル日航東京など。また、観光関連産業以外に就職する学生も、同学科で身に付けた社会人として必要なホスピタリティを存分に生かしている。

一方、同大学は伝統的に教員になる卒業生も多い。そのため、総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、レストランサービス技能検定といった資格試験対策のカリキュラムだけでなく、中学校教諭1種（社会）、高等学校教諭1種（地理歴史・公民）が取得可能な科目も設けている。

昨年度からは大学院に博士後期課程を設置。観光の高等教育を行う人材の育成も始めた。「私立大学で観光の博士課程を持つのは立教大学に次ぐ2校目」（薄木教授）で、同大の観光人材育成の姿勢を端的に表している。

観光をマネジメント

跡見学園女子大学

成長産業として観光の認識が高まるなか、観光学科を設ける大学が増えてきた。専門知識を習得した人材が数多く輩出されるのは観光関連の企業にとって望ましい。だが、企業と学校とが意見を交わす場では時に、企業が求める人材像には物足りないとも指摘される。マネジメント能力が備わっていないというのだ。

跡見学園女子大学のマネジメント学部「観光マネジメント学科」は、その名称通り、「観光をマネジメントする学科」だ。まさに観光関連企業の人材ニーズにこたえた学科と言えよう。

山田徹雄学長は「観光学科の多くは文学部の社会学科から分岐したので、社会学に立脚している。本学ではっきりと経済、経営系の一環として、観光やホスピタリティに対する実践的な学問を追究していく」と他大学との違いを強調する。

実践教育の目玉は、2年次の夏季休業に2週間程度、学生全員が参加するインターンシップだ。昨年は9月に原発事故の風評被害で観光客が激減した福島県会津若松市をアーは、近畿日本ツーリストと共同で、観光人材育成の姿勢を端的に表している。

会津若松市を視察し、観光振興策を考案

訪れ、視察や職業体験を通じて、今後の風評対策や観光振興策を考案。観光を学ぶ女子大生ならではの意見を会津若松市の室井市長に提案した。

また、観光振興策の1つとして考え出した女性向け会津若松ツアーは、近畿日本ツーリスト（KNT）の協力により実際に旅行商品となり、今年の夏に発売される予定だ。

「学問は主体的に取り組むことが大切。まず社会に飛び込ませ、自ら学ぶ姿勢を持たせる」と山田学長。学生の意欲を高めたうえで、3、4年次に専門知識を学ばせる。机上だけでもなく実践だけでもない教育によって、本物のマネジメント力を養うのが〝跡見流〟だ。

観光を創り出す力を

東京成徳大学

東京成徳大学人文学部観光文化学科は、「社会人基礎力」と「観光デザイン力」の2本の柱を掲げ、観光関連業のほか、行政やサービス業など、幅広い分野で活躍できる人材育成を目指す学科として、2010年に新設された。

「社会人基礎力」とは、物事をよく見て、じっくり考える力（シンキング）、自ら働きかける実行力（アクション）、周囲とコミュニケーションをとり協調して働く力（チームワーク）であり、社会で生きていくために必要な基礎的な資質である。

こうした「社会人基礎力」と同時に、地域や日本、世界の文化を理解、尊重し、観光客を魅了しつつ、地域住民の誇りと愛着をも育てるという一連の構想力、すなわち多様で個性的な観光を創造する力「観光デザイン力」が、これからの観光に必要と考えている。

文化理解を深めながら、観光の視点を学ぶとともに、観光の現場を体験し、観光の課題や素晴らしさを感じ取る機会として、フィールドワークや学外学習などのプログラムを豊富に用意しているほか、1年生でもホテルや行政でのインターンシップに送り出すなど、学生の資質に応じたきめ細かい指導を行っている。学生が表彰式の運営実施に参加する「千葉、観光の魅力　高校生フォトコンテスト」も、今年3回目を迎え、地域の高校での注目度も高まった。1期生が3年生になった今年度は、学科独自の就活支援として、観光にかかわるさまざまな業界から一流のゲストを招請し、業界の概況や求められる人材像のほか、仕事をする厳しさ、楽しさを語ってもらうことで、学生自らが人生設計をスタートする絶好の動機付けとなっている。

オリエンテーション合宿